



国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所

令和 8 年度事業概要



事務所の組織

(1)組織



(2)人員

職員数:80名

うち、事務職員 :34名

技術職員 :46名

事務所の予算

令和8年度予算概要

令和8年度予算

事務所全体	約 1 6 7 億円 (2 0 9 億円)	対前年0.70 (0.70)	100%
◇河川関係	約 3 4 億円 (5 0 億円)	対前年0.99 (1.16)	約 24%
◇道路関係	約 1 3 3 億円 (1 5 8 億円)	対前年0.65 (0.62)	約 76%

※ () は R 7 年度補正予算含む

予算総括表

(単位:百万円)

項目	事業費						対前年度比 (R8当初/R7当初) ⑤/②	対前年度比 (R8/R7) ⑥/③ ※補正含み
	R7年度			R8年度				
	①R6補正	②R7当初	③計	④R7補正	⑤R8当初	⑥計		
河川合計	853	3,469	4,322	1,600	3,429	5,029	0.99	1.16
道路合計	4,952	20,393	25,345	2,517	13,307	15,824	0.65	0.62
事務所合計	5,805	23,862	29,667	4,117	16,736	20,853	0.70	0.70

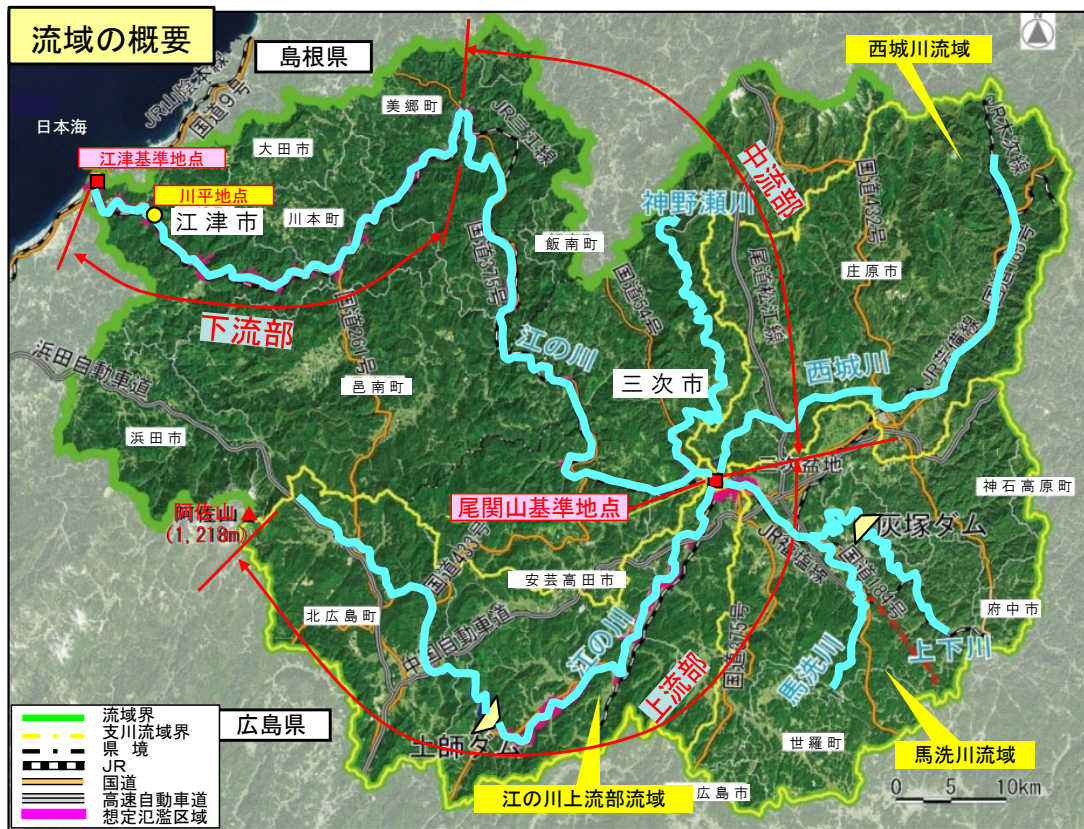
※上記予算の他に、道路調査費、付帯工事費、受託工事費、河川等災害復旧事業費がある。

※益田・田万川道路は含まない。

江の川流域の概要



- 中国山地を貫流し、広島・島根の2県をまたぐ中国地方最大の河川（別名「中国太郎」）。上流の三次市街地で、直轄3河川が合流する。
- 河口の狭小な沖積平野（江津市街地）と上流盆地（三次市街地）に人口資産が集中。中下流の山間狭窄部は河岸段丘に小集落が点在する。



流域図

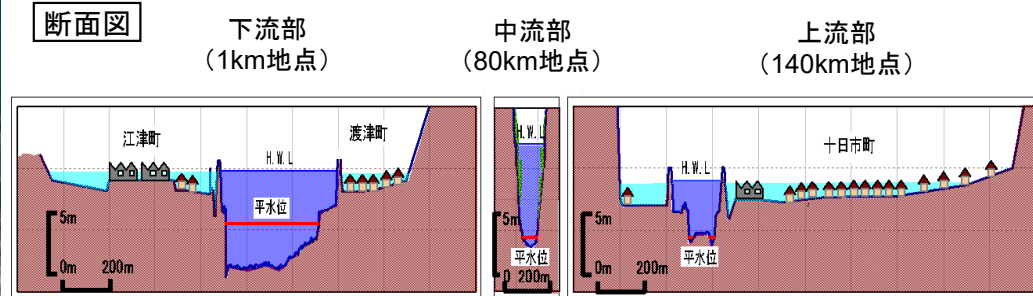
- ・流域面積は広島県が2,640km²、島根県が半分以下の1,260km²
- ・島根県側で降雨が少なくとも、広島県側で降った雨によって中下流部で氾濫を起こすことがある。



流域面積(集水面積)	: 3,900km ²
幹川流路延長	: 194km
流域内人口	: 約19万人
想定氾濫区域面積	: 105km ²
想定氾濫区域内人口	: 約5万人
想定氾濫区域内資産額	: 約1兆2,523億円
主な市町	
	: 島根県江津市、川本町、美郷町、邑南町
	: 広島県三次市、安芸高田市、庄原市
	※河川現況調査(H22基準)より



断面図



江の川 過去の洪水被害



- 江の川流域では、これまで水害による被害を引き起こしてきました。戦後発生した主要な水害は昭和20年9月の枕崎台風、昭和40年6月、7月洪水、昭和47年7月の梅雨前線による洪水があります。中でも昭和47年7月の洪水は大災害となり戦後最大の規模となりました。
- その後、昭和58年7月洪水、平成30年7月洪水、令和2年7月洪水及び令和3年8月洪水においても浸水被害が発生しています。

洪水発生年	原因	江津(川平)		尾関山		被害状況 (暫定値を含む)
		2日雨量(mm)	流量(m ³ /s)	2日雨量(mm)	流量(m ³ /s)	
昭和47年7月12日	梅雨	362	約10,200	346	約6,900	家屋全半壊・一部破損:3,960戸 床上浸水:6,202戸、床下浸水:7,861戸
昭和58年7月23日	前線	202	約7,500	158	約4,600	家屋全半壊・流失:206戸 床上浸水:1,115戸、床下浸水:2,402戸
平成18年7月19日	梅雨	177	約6,700	149	約3,400	家屋全半壊・流失:0戸 床上浸水:8戸、床下浸水:145戸
平成30年7月6日	前線	313	約8,800	348	約6,400	家屋全半壊・流失:442戸 床上浸水:87戸、床下浸水:289戸
令和2年7月14日	前線	175	約7,300	187	約5,700	家屋全半壊・流失:75戸 床上浸水:18戸、床下浸水:132戸
令和3年8月13日	前線	222	約6,400	255	約3,800	家屋全半壊・流失:0戸 浸水家屋:619戸



江の川の治水事業



■H28.2月に策定した江の川水系河川整備計画において、65地区（堤防整備19地区、宅地嵩上げ46地区）の整備が位置づけられており、そのうち47地区が、H30.7・R2.7の豪雨で2度の浸水被害が発生しました。

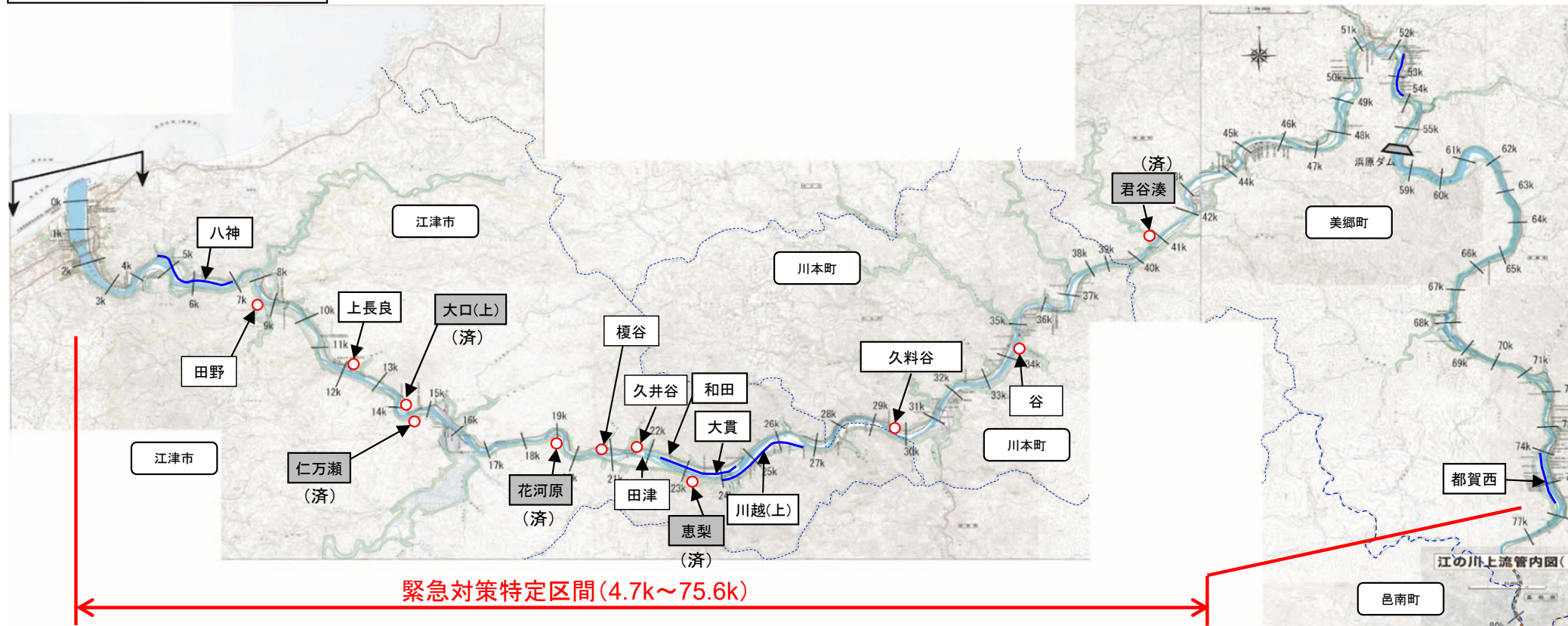
■近年2度浸水被害が発生した47地区のうち、**住家の浸水被害が発生した15地区および事業中2地区の計17地区を、**重点投資を行い早期に事業効果を発現させることを目的とした、**緊急対策特定区間**に設定し、重点的な事業執行を図ります。

位置図



■緊急対策特定区間の事業概要

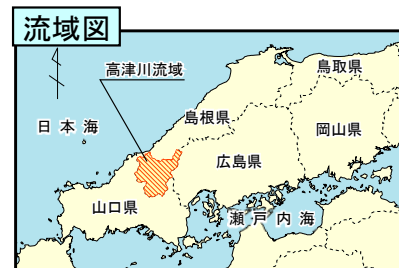
事業内容：堤防整備や宅地嵩上げ等
事業期間：令和3年度～令和12年度（10年度）
事業費：約250億円



高津川流域の概要



- 高津川は島根県西部に位置し、下流部には石西地域の中心都市である益田市街地があり、人口・資産が集中している。
- 流域の地形は、全体的に平地に乏しく、急峻な地形となっており、河道は山地内を穿入（せんにゆう）蛇行しながら谷底を流れ、最下流部でようやく横田盆地・益田平野等の沖積平野が広がる。



流域及び氾濫域の諸元

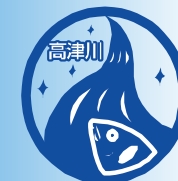
流域面積(集水面積)	: 1,090 km ²
幹川流路延長	: 81 km
流域内人口	: 約3万2千人
想定氾濫区域面積	: 39 km ²
想定氾濫区域内人口	: 約2万1千人
想定氾濫区域内資産額	: 約5,000億円
流域内市町	: 益田市、津和野町、吉賀町



出典: 第10回河川現地調査(H22年基準)



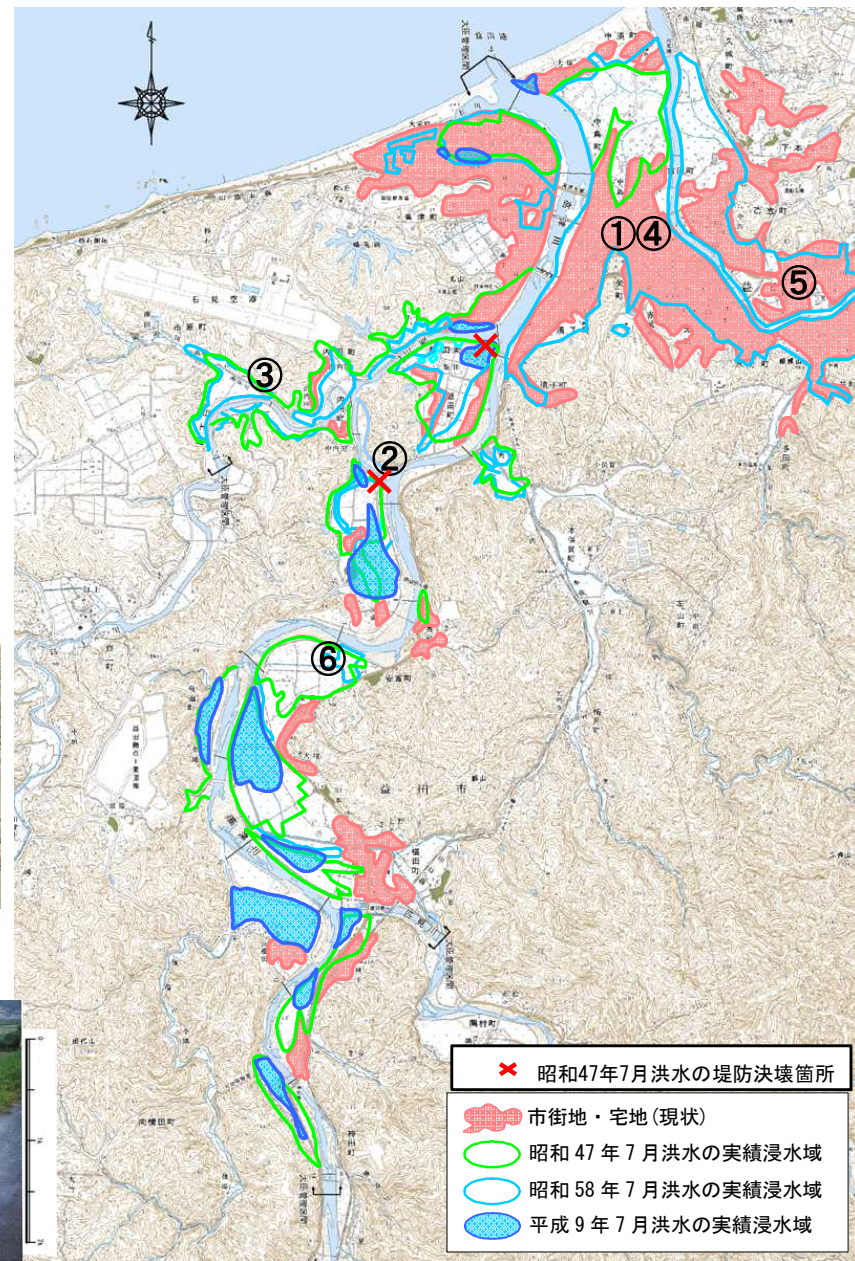
高津川 過去の洪水被害



- 高津川の下流域は、益田市街地が低平地に広がり、水害を受けやすい地形となっている。
- 過去の主な水害としては、戦後最大流量を観測し堤防決壊等の災害が続出した昭和47年7月洪水等が知られているほか、近年では平成9年7月洪水において浸水被害が発生している。

【主な洪水被害】 出典)建設省河川局「水害統計」、ただし昭和18年は益田市史による

洪水名	成因	高角流量 (m ³ /s)	人的被害	家屋被害			浸水面積 (ha)	一般資産等 被害額 (百万円)
				全半壊 家屋(棟)	床上 浸水(棟)	床下 浸水(棟)		
昭和18年9月洪水	台風	約4,000	(益田町)死者・不明者108名	2,590	314	209	不明	不明
			(美濃郡)死者・不明者136名	3,194	3607		不明	不明
昭和47年7月洪水	梅雨前線	約5,000		64	751	1,232	1,254	1,387
昭和58年7月洪水	梅雨前線	約2,500		60	53	260	222	892
昭和60年6月洪水	梅雨前線	約3,200		2	9	155	348	465
平成9年7月洪水	台風	約3,300				25	123	251



①昭和18年9月洪水による
益田市街地の被災状況



②昭和47年7月洪水による
派川虫追橋の被災状況



③昭和47年7月洪水による
白上川の被災状況



④昭和18年9月洪水による
益田市街地の被災状況

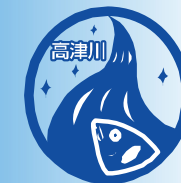


⑤昭和58年7月洪水による
益田市街地の被災状況

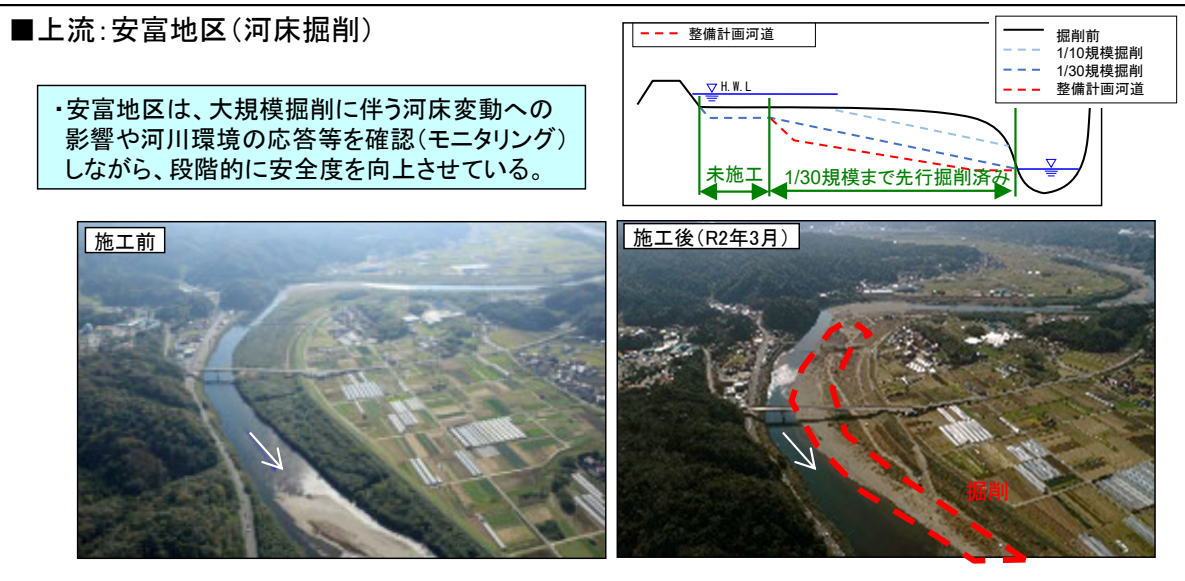
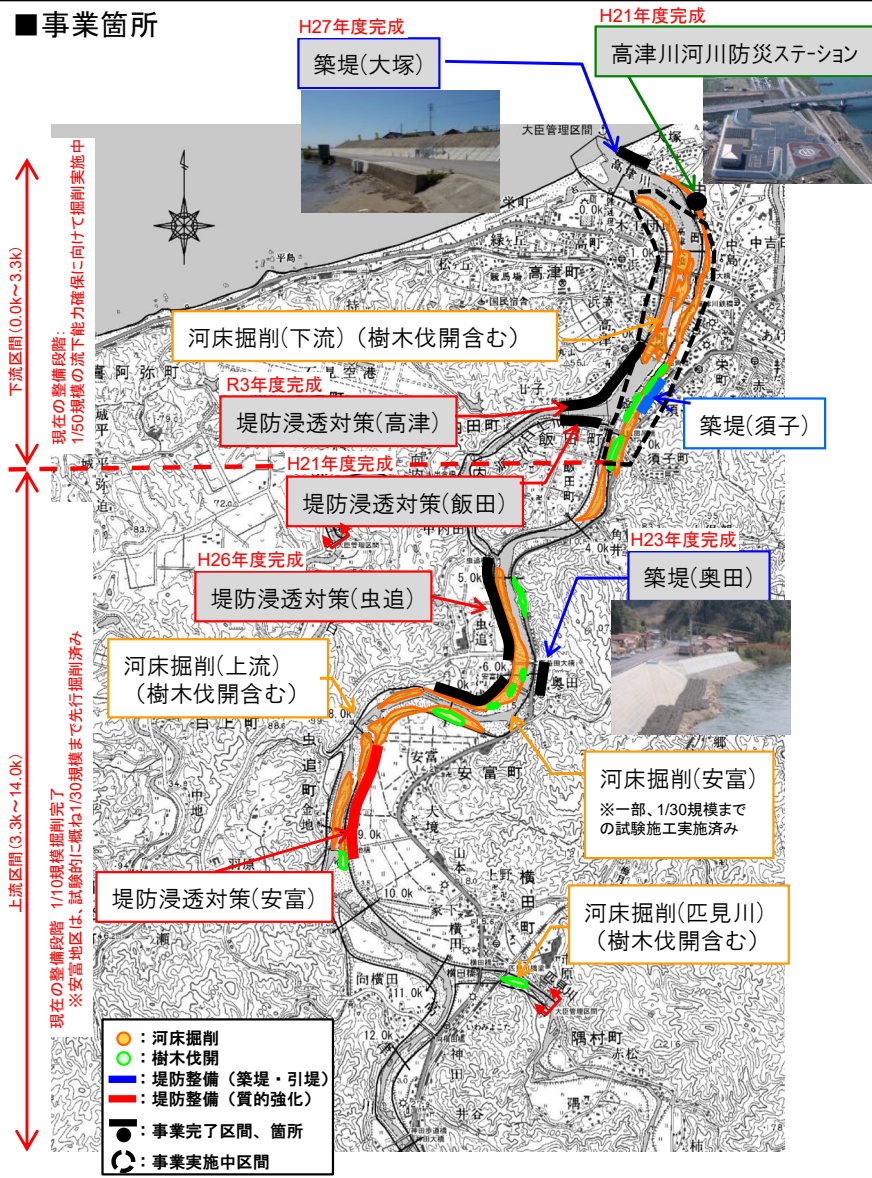


⑥平成9年7月洪水による
堤防法尻からの漏水対策

高津川の治水事業



- 河川整備計画を策定以降、これまで堤防高が不足している箇所（大塚・奥田）の築堤や上下流バランスを踏まえた河床掘削（下流区間：高津地区・中島地区・中洲等、上流区間：安富地区）を実施。
- 浸透対策について、R3年度に下流区間（益田市街地）の一連が完了。高津川河川防災ステーションについては、H21年度に完成。
- 下流区間（益田市街地）の安全度を更に向上させるため、須子地区の掘削を実施中。



河川管理

■日々の点検を行っています

洪水等による災害発生の防止(河川管理施設の設置、維持、修繕等)、河川の適正な利用の増進(発電、上水道、農工用水利使用等)、流水の正常な機能の保持(塵埃処理、河口の閉塞防止等)、許認可事務(河川法に係る許可、承認等)を行っています。



堤防除草(高津川)



河川巡視



河川巡視のUAV活用

水防活動

■事故・災害にすばやい対応を

出水期前には防災体制に万全を期すため、関係機関とともに災害対策演習を実施しています。



災害対策演習状況



高津川総合水防演習
(令和7年5月)



江の川排水ポンプ車稼働状況
(令和2年7月)



高津川排水ポンプ車稼働状況
(平成30年7月)

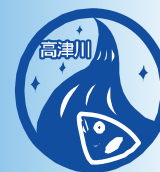
施設管理

■災害を未然に防ぐ施設の管理です

平常時から河川巡視等により、堤防及び河川施設等の点検を実施しています。特に出水期前には、堤防・護岸・排水機場・樋門等の総点検を実施し、堤防及び施設の異常の有無の確認や、樋門等の作動確認を行っております。



堤防点検状況



高津川では、「自転車による健康増進・地域振興」や「水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出」を目指し、「益田市自転車活用推進計画」に基づく新たなサイクリングコースの設定やレクリエーション等に活用できる水辺拠点の創出により、地域の活性化を図るためのハード整備等を実施します。

施設整備メニュー

1. 管理用通路(国)

サイクリングや高水敷利用等ができるように管理用通路(スロープを含む通路)を整備する。

2. 高水敷整正、親水護岸(国)

水辺空間を活用したレクリエーションやイベントが可能で多目的利用の場として、高水敷や傾斜の緩やかな親水護岸等を整備する。

3. サイン・案内板(益田市)

サイクリングコースのサイン(路面標示等)や水辺拠点の利用案内板を整備する。

4. 整地(益田市)

快適に高水敷利用ができるように整地する。

5. 利用施設(益田市)

サイクリストが休憩時に利用するサイクルスタンドを設置。
水辺利用者が利用しやすくなるよう既存トイレを改修する。

凡例

: 国整備

: 益田市整備

事業期間：令和5年度～令和14年度

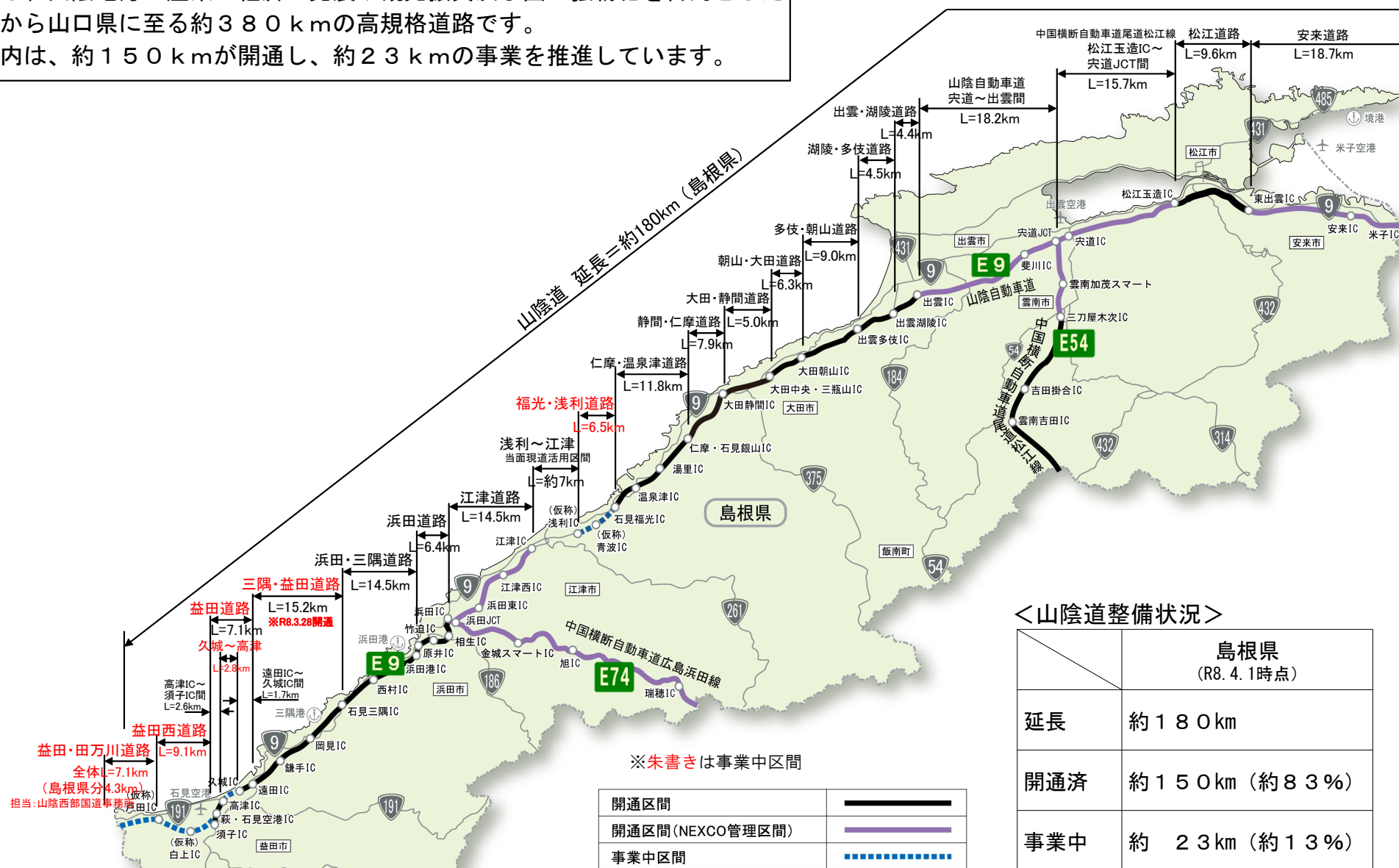


山陰道の概要



山陰道の概要

- 山陰道は、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興及び国土強靱化を目的とした鳥取県から山口県に至る約380kmの高規格道路です。
- 島根県内は、約150kmが開通し、約23kmの事業を推進しています。

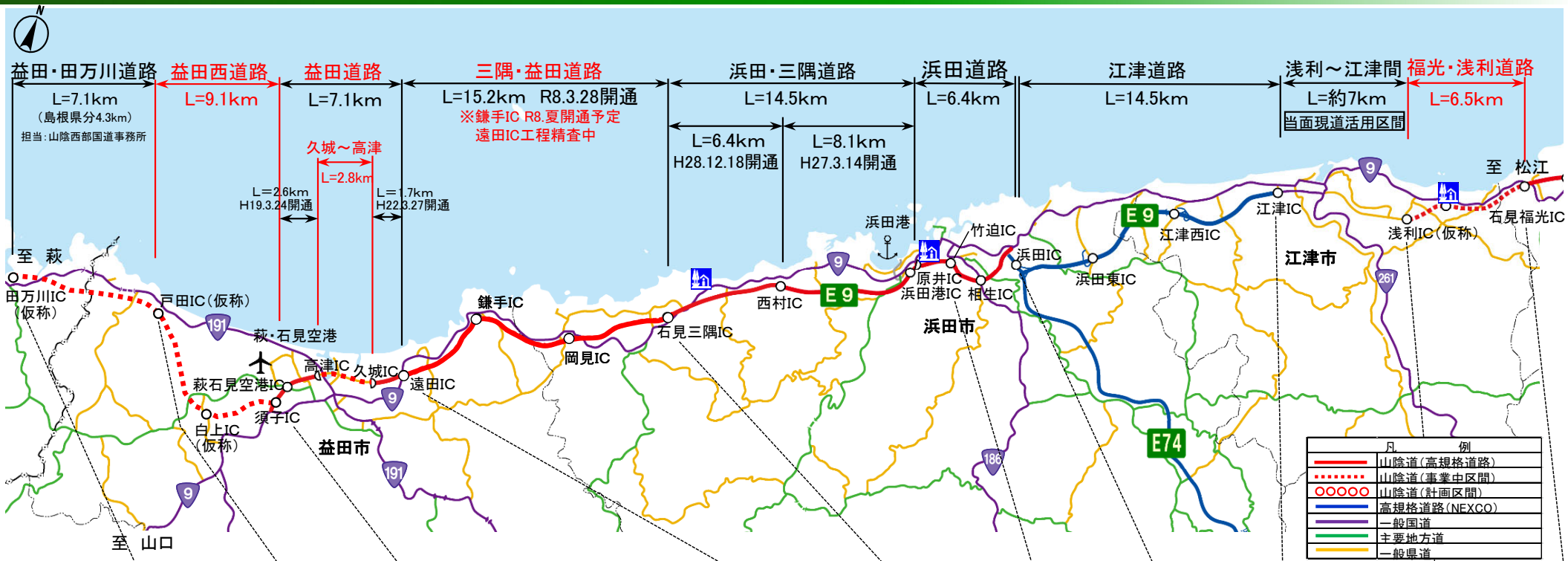


<山陰道整備状況>

島根県 (R8.4.1時点)	
延長	約180km
開通済	約150km (約83%)
事業中	約23km (約13%)

※中国横断自動車道尾道松江線(松江玉造IC～宍道JCT間)は除く。

山陰道の整備状況



凡 例	
—	山陰道(高規格道路)
⋯	山陰道(事業中区分)
○	山陰道(計画区分)
—	高規格道路(NEXCO)
—	一般国道
—	主要地方道
—	一般県道

項目	区間	益田道路			三隅・益田道路	浜田・益田道路	浜田道路	江津道路	浅利～江津	福光・浅利道路	
		益田西道路	高津～須子	久城～高津							遠田～久城
事業化年度	益田・田万川道路 担当: 山陰西部国道事務所	R2年度	H8年度	R5年度	H8年度	H24年度	H16年度	S53年度	S48年度	当面現道活用区間	H28年度
開通年度		—	H19. 3. 24	—	H22. 3. 27	石見三隅～遠田 R8. 3. 28	原井～西村 H27. 3. 14 西村～石見三隅 H28. 12. 18	H5. 6. 3	H15. 9. 21	江津ハ ¹ ハ ² H5. 3. 25 (県)浅利渡津線 H31. 3. 17	—
事業進捗率 R8年度		約9%	—	約6%	—	約99%	—	—	—	—	約50%
用地進捗率 R8. 3末		約80%	—	100%	—	100%	—	—	—	—	100%
全体事業費		370億円	—	260億円	—	1,028億円	—	—	—	—	490億円
R8年度事業費		7.0億円 (島根県4.0億円)	—	9.6億円	—	15.0億円	—	—	—	—	39.1億円
R8年度事業概要		調査設計 用地買収 整備工事	—	調査設計 改良工事	—	調査設計 用地補償 舗装工、道路付属物設置工 (H27工事着手)	—	—	—	—	改良工事、橋梁 上下工事 (R3工事着手)

道路事業の概要

■ 事業の目的

国道9号 三隅・益田道路は、急勾配でカーブが連続する国道9号の問題を解消し、緊急時の代替ルートを確認します。

■ 路線図



■ 並行する道路の課題

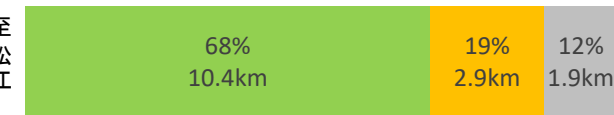


線形不良箇所による事故

■ 計画概要

起 点	はまだ ^{みすみちょうもりみぞかみ} 浜田市三隅町森溝上
終 点	ますだ ^{とんだちよう} 益田市遠田町
延 長	15.2km
道路区分	第1種3級(自動車専用道路)
全体事業費	1,028億円(暫定2車線)
経 緯	平成22年10月19日 都市計画決定 平成24年度 事業化 平成26年度 用地着手 平成27年度 工事着手

■ 道路構造



■ 土工 ■ 橋梁 ■ トンネル

■ 事業進捗状況

用地取得率	約100%(令和8年3月末時点)
事業進捗	約99%(令和8年度)
トンネル	全4トンネル ・完成4トンネル
橋 梁	全17橋梁 ・上部工完成:17橋

※用地取得率:取得面積ベースで算出

事業進捗率:事業費ベースで算出

令和8年度の事業内容

- 調査設計、用地補償、舗装工事、道路附属物設置工事等を推進します。

進捗状況 R8.3撮影

令和8年3月28日延長15.2km(石見三隅IC～遠田IC) 開通

※鎌手ICは令和8年夏開通予定、遠田IC工程精査中



山陰道 益田道路(久城～高津)



道路事業の概要

■事業の目的

国道9号 益田道路(久城～高津)は、災害時の緊急輸送道路の途絶を回避し、速達性・定時性の高いネットワークを確保します。

■並行する道路の課題



昭和58年7月豪雨の浸水状況



高津IC交差点の渋滞状況

■路線図



■計画概要

起 点	ますだ 久城町
終 点	ますだ たかつ 高津
延 長	2.8km
道 路 区 分	第1種2級(自動車専用道路)
全 体 事 業 費	260億円(暫定2車線)
経 緯	令和 5年度 事業化

■道路構造



■ 土工 ■ 橋梁 ■ トンネル

■事業進捗状況

用地取得率	100%(令和8年3月時点)
事業進捗	約 6%(令和8年度)
橋 梁	全6橋梁(令和8年3月末時点) ・未着手: 6橋

※用地取得率: 取得面積ベースで算出

事業進捗率: 事業費ベースで算出

令和8年度の事業内容

調査設計、改良工事を推進します。

山陰道 益田西道路



道路事業の概要

■事業の目的

国道191号 益田西道路は、国道191号の代替路の確保を行い、主要な産業拠点へのアクセス性を向上するネットワークを確保します。

■並行する道路の課題



持石海岸からの飛砂・堆砂



高津IC付近の渋滞状況

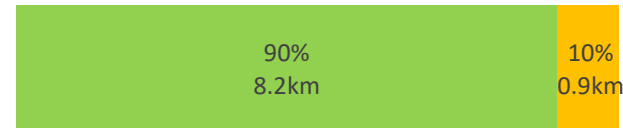
■路線図



■計画概要

起 点	ますだ とだちよう 益田市戸田町
終 点	ますだ いいだちよう 益田市飯田町
延 長	9.1km
道 路 区 分	第1種3級(自動車専用道路)
全 体 事 業 費	330億円(完成2車線)
経 緯	令和 2年度 事業化 令和 4年度 用地着手

■道路構造



■ 土工 ■ 橋梁 ■ トンネル

■事業進捗状況

用地取得率	約 90%(令和8年3月末時点)
事業進捗	約 17%(令和8年度)
橋 梁	全8橋梁(令和8年3月末時点) ・未着手: 8橋

※用地取得率：取得面積ベースで算出

事業進捗率：事業費ベースで算出

令和8年度の事業内容

調査設計、用地取得、整備工事を推進します。

山陰道の整備効果(益田以東)



山陰道が繋がると、どうなる?

東西に長い島根県の移動時間を

山陰道が復活

移動時間の変化 ※移動時間は5分単位で表示



【算出条件】

- 各区分、東向き移動時間を算出
- 山陰道
 - ・現在JはR4.1時点での供用区間
 - ・70km/hあるいは現況規制速度を用いて算出
- 国道9号
 - ・令和3年度全国道路・街路交通情勢調査
 - ・遅延時旅行速度を用いて算出
 - ・上記の旅行速度がない区間は30km/hとして算出



〈凡例〉

—	開通済み区間
□□□□	整備中区間
□□□□	未整備区間

山陰道の整備が進んでいます。

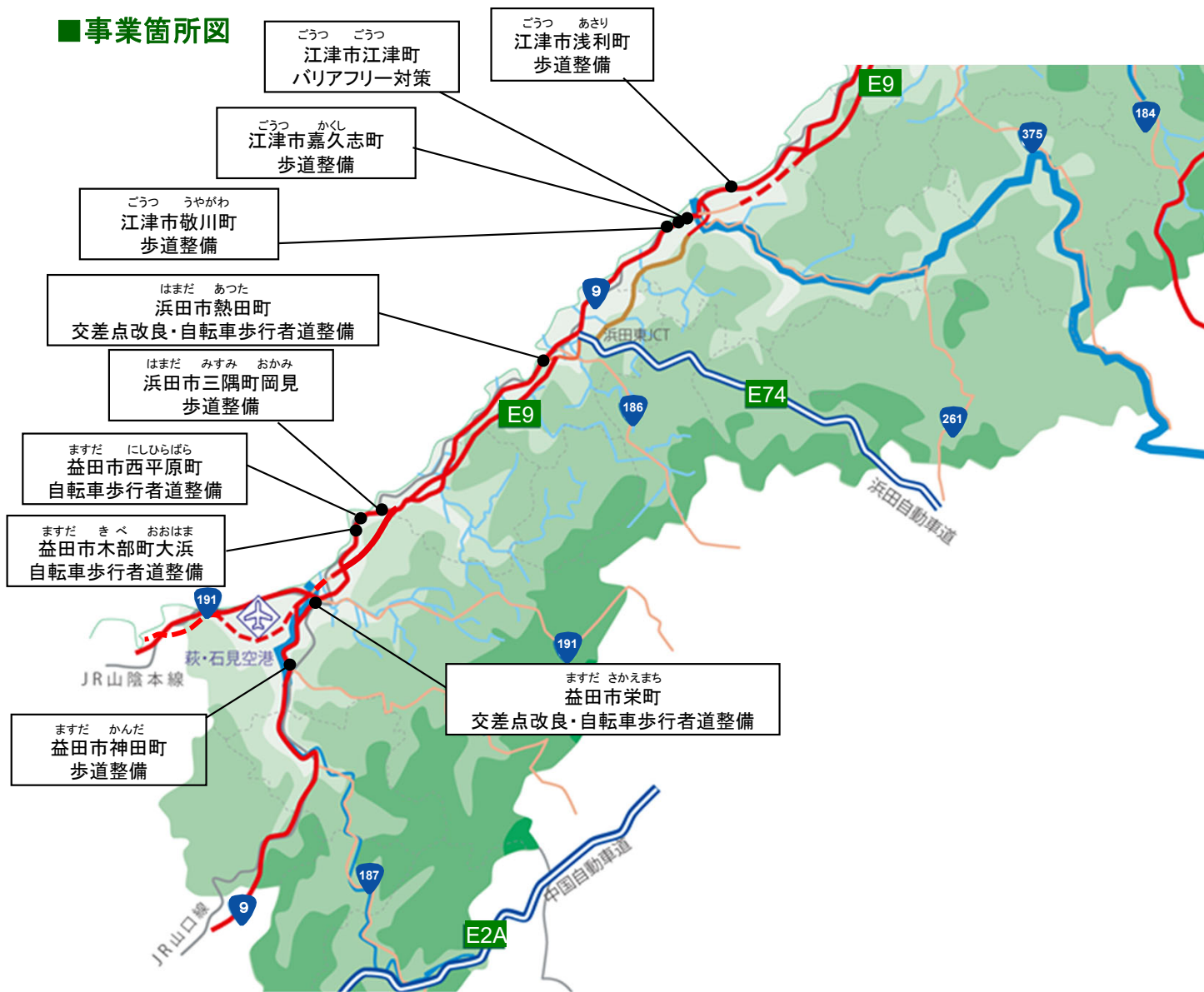
現在約 **83%** が開通

交通安全事業

交通安全事業の概要

- 交通事故対策の推進および安全で快適な歩行空間の構築を目指し、歩道や交差点改良等の整備を行う交通安全事業を進めています。
- 令和8年度は江津市、浜田市、益田市の計10箇所を調査設計、用地買収、工事を推進します。

■ 事業箇所図



江津市嘉久志町
(歩行者道整備予定箇所)



浜田市熱田町
(交差点改良・自転車歩行者道整備箇所)



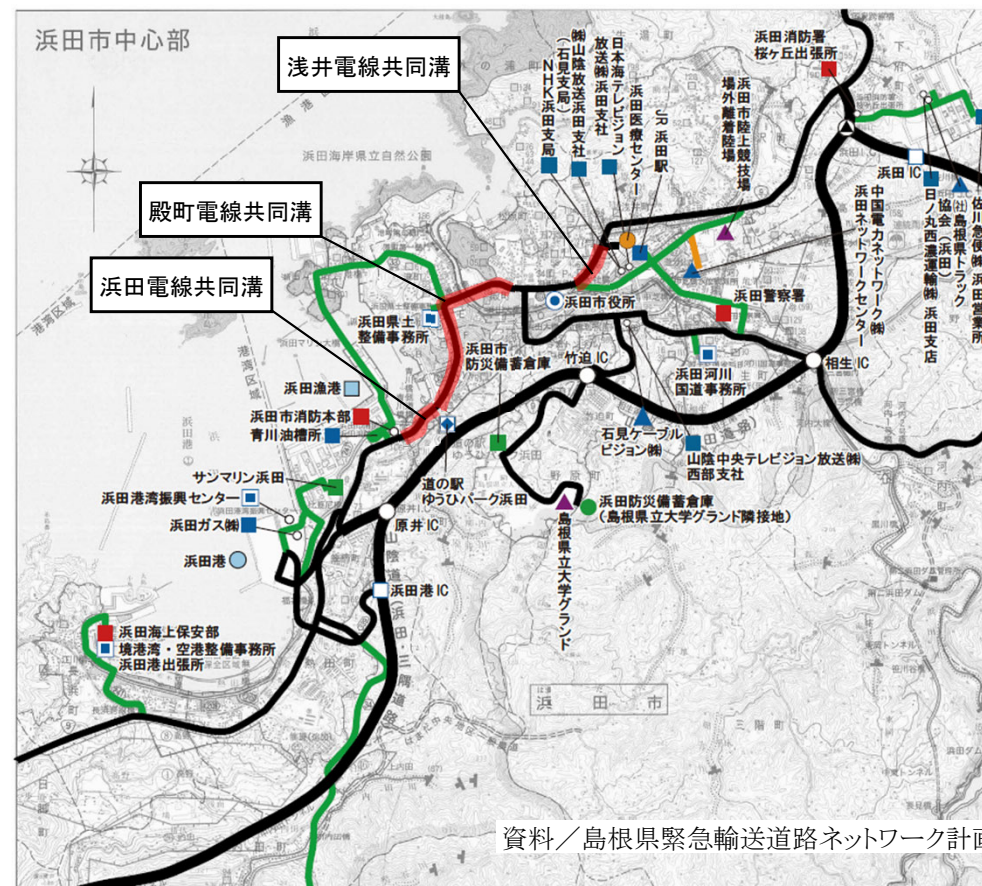
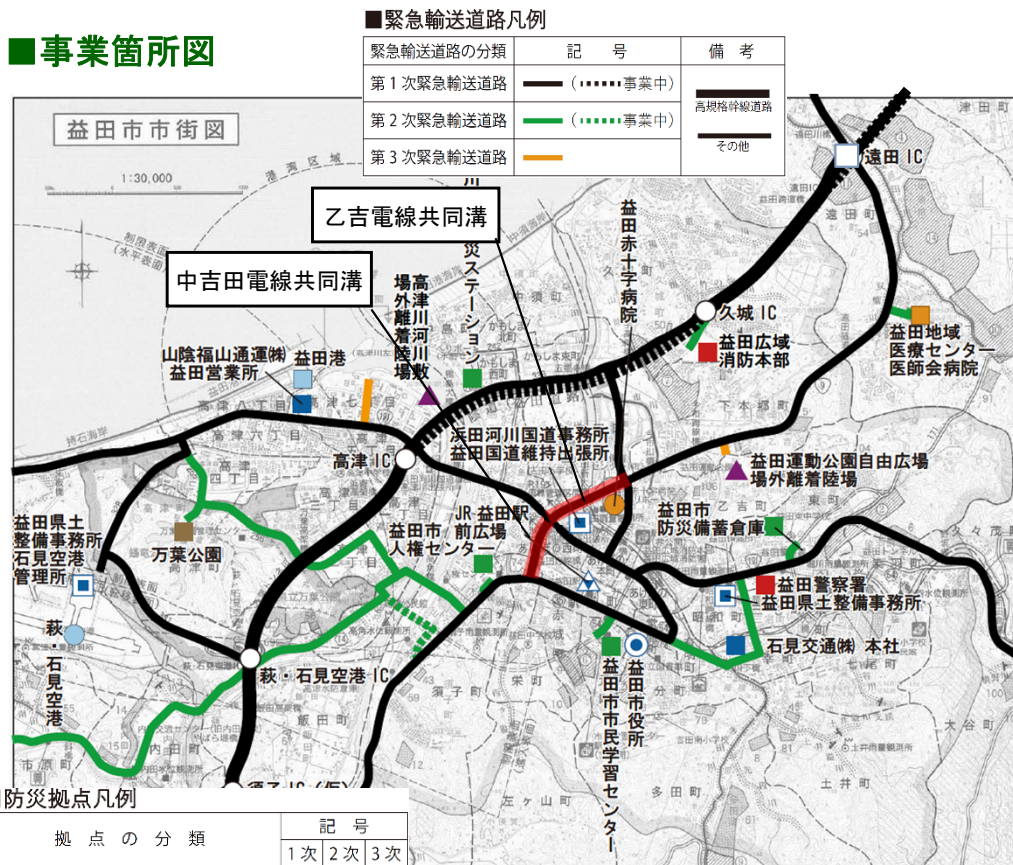
益田市神田町
(歩行者道整備予定箇所)

無電柱化の推進

電線共同溝事業の概要

- 道路の防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成などを旨し電線共同溝事業を推進します。
- 令和8年度は浜田市で調査設計、工事の推進、益田市で調査設計を推進します。

■ 事業箇所図



道路管理 / 施設管理 / 災害対応

道路管理

道路を保全し、安全性の確保と交通の円滑化を図るため、道路の維持管理や修繕、道路占用等の許認可事務などを行っています。



パトロール



路面清掃



路面補修



道路照明ランプ交換



雪害対策

施設管理

道路管理施設を健全な状況で管理するため、定期的な点検と補修等を行っています。



橋梁点検(1回/5年)



トンネル点検(1回/5年)



防災点検(1回/年)

■ 橋梁補修



補修前



補修後

■ 防災対策



対策前



対策後

災害対応

著しい降雨や地震等により発生した、被災箇所の応急復旧作業を行います。また、災害時において迅速な対応を行えるよう、日頃より訓練を実施しています。



応急復旧作業



応急復旧作業



訓練(災害時車両移動訓練)

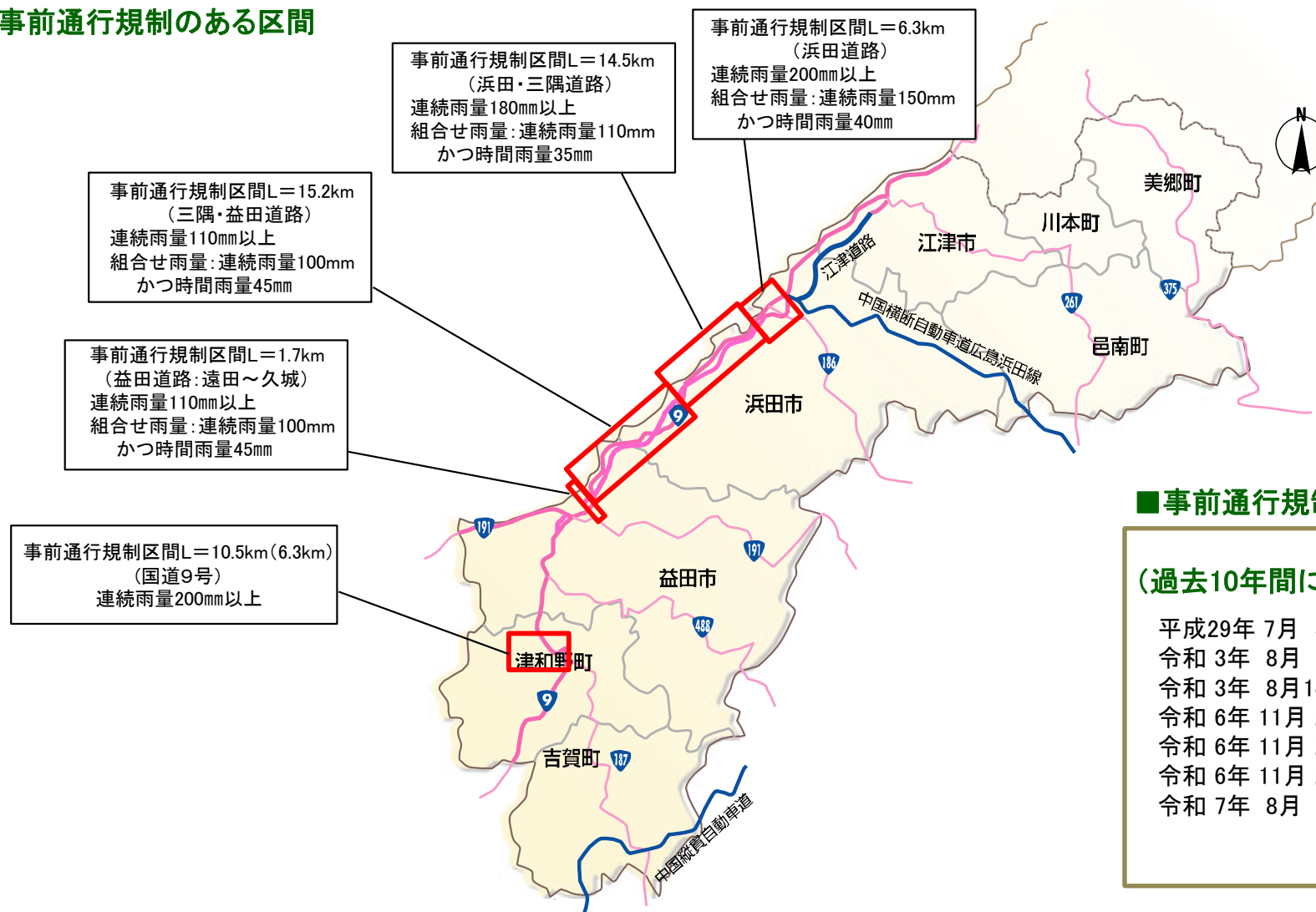
道路の安全確保

道路の事通行規制

異常気象時(長雨や豪雨、台風による暴風雨等)において、実際に道路のり面の崩壊や落石等の災害が発生していなくても、道路通行者の安全確保のため、事前通行規制として通行止めを行うことがあります。

浜田河川国道事務所管内では、浜田道路(浜田IC~原井IC)、浜田・三隅道路(原井IC~石見三隅IC)、三隅・益田道路(石見三隅IC~遠田IC)、益田道路(遠田IC~久城IC)、国道9号(益田市神田町三星~鹿足郡津和野町枕瀬)において、雨量に応じて事前通行規制を行います。

事前通行規制のある区間



事前通行規制区間の通行止めの実績

(過去10年間において計7回)

平成29年 7月 5日	8:00~13:40	(浜田・三隅道路)
令和 3年 8月 9日	8:45~18:05	(国道9号)
令和 3年 8月 14日	18:20~翌日 5:00	(国道9号)
令和 6年 11月 2日	8:00~15:40	(国道9号)
令和 6年 11月 2日	8:30~15:40	(浜田道路)
令和 6年 11月 2日	8:30~15:40	(浜田・三隅道路)
令和 7年 8月 7日	4:55~ 9:55	(浜田・三隅道路)

冬期の道路管理

冬期の道路管理の概要

山陰は山陽にくらべて冬期に降雪が多く、特に山間部では積雪の恐れがあり、冬期の交通確保は中山間地域の重要な課題の一つでもあります。浜田河川国道事務所管理区間の国道9号、国道191号は、積雪寒特別地域(雪寒地域)の対象となっており、降雪、凍結、圧雪等の現象によって生じる障害を防止するため除雪・防雪対策を行います。

大雪時の予防的通行規制区間

浜田河川国道事務所が管理している道路のうち、冬期に大型車等の立ち往生車両が発生する恐れが高い4区間を「大雪時の予防的通行規制区間」に設定し、集中的・効率的に優先除雪を行い、立ち往生車両の発生を防止します。

その他の区間においても、降雪状況等により通行止めを行う場合があります。



江津市内での立ち往生状況



津和野町内での立ち往生状況



津和野町内での一般国道9号除雪作業



積雪寒冷特別地域(雪寒地域)とは、2月の積雪の深さの最大値の累年平均(最近5年以上における平均をいう)が50cm以上の地域又は1月の平均気温の累年平均が摂氏零度以下の地域とされる。

「道の駅」

道の駅とは ～地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場～

■「道の駅」の目的

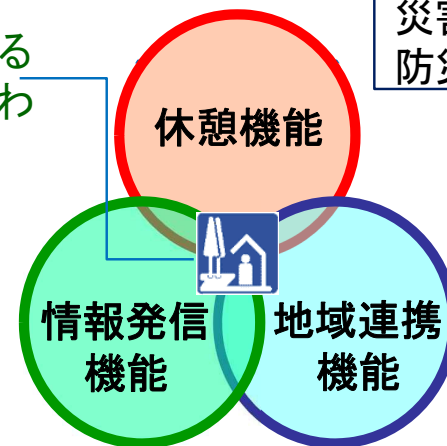
- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

■「道の駅」の3つの機能

休憩	・24時間無料で利用できる駐車場・トイレ
情報発信	・道路情報、観光情報、緊急医療情報
地域の連携	・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る

■「道の駅」の基本コンセプト

地域とともに作る
個性豊かなにぎわいの場



災害時は、
防災機能を発現

島根県内の道の駅: 29箇所 (R8.4.1現在)

浜田市	美郷町	出雲市	松江市
27 ゆうひパーク浜田	18 グリーンロード大和	7 湯の川	1 本庄
23 ゆうひパーク三隅		8 大社こ緑広場	2 秋鹿なぎさ公園
益田市	江津市	9 キララ多岐	安来市
24 サンエイト美都	19 サンピコごうつ	雲南市	3 あらエッサ
25 匹見峠		10 さくらの里きすき	4 広瀬・富田城
津和野町	川本町	11 おろちの里	奥出雲市
26 シルクウェイにちはら	20 インフォメーションセンターかわもと	12 掛合の里	5 酒蔵奥出雲交流会
27 津和野温泉なごみの里		13 たたらば荳番地	6 奥出雲おろちループ
吉賀町	邑南町	大田市	飯南町
28 かきのきむら	21 邑南の里	16 ロード観山	14 頓原
29 むいかいち温泉		17 ごいせ仁摩	15 赤来高原

浜田河川国道事務所管内には12箇所の道の駅があり、
直轄管理を行っている道の駅は4箇所あります。



■島根県西部地域「道の駅」意見交換会

令和7年12月2日(火) ゆうひパーク浜田にて「道の駅」の魅力向上する連携・協力体制の構築を目的に、島根県西部地域の「道の駅」駅長、設置自治体、道路管理者約30名が集まり意見交換会を開催しています。



意見交換会の様子

出前講座・現場見学会

- 町内会、子供会、学校の授業等を対象に、浜田河川国道事務所の職員が河川や道路事業について出前講座で紹介し、事業へのご理解を深めて頂いています。
- 現場見学会を開催し、事業の進捗状況を地域の皆さまにご確認頂いています。
- 新たな技術を活用した取組を学生に体験してもらい、土木事業の面白さを体験することで、担い手の育成にも務めています。

令和7年度実績

	内容	参加団体数	参加人数			
			計	地域住民	学生	企業等
出前講座	治水事業、山陰道、河川災害	14団体	約240人	約170人	約70人	—
現場見学会	江の川、高津川、福光・浅利道路、三隅・益田道路、除雪、新技術	25団体	約570人	約130人	約260人	約180人

■河川出前講座「江の川の生き物について」
: 江津市立桜江小学校



■河川出前講座「高津川の水防災への備えとマイ・タイムランについて」
: 益田市西益田・横田地区の住民



■河川出前講座「マイ・タイムラン研修会」
: 江津市民(黒松・和木・川戸・谷住郷・都治・嘉久志地区)



■ドローン操作見学(福光・浅利道路)
: 島根県立東部高等技術校・島根県立矢上高校



■現場見学会 建設機械の乗車体験(三隅・益田道路)
: 島根県立翔陽高校



■除雪機械ふれあい体験(津和野除雪基地)
: 津和野幼花園・直地保育園



地域との協働

地域づくり・まちづくりの取り組み

■地域で活動されている市民団体等と協働することによる、地域づくり・まちづくりの支援に取り組んでいます。

■水辺EN組プログラム

水辺EN組プログラムとは、地域や企業のみなさんに河川の美化清掃に参加していただき、みなさんとともに快適な河川空間づくりを進めるものです。

令和8年4月1日現在、**9団体**が登録されています。



江の川での活動状況

■河川協力団体

河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援するものです。

令和8年4月1日現在、**1団体**が登録されています。



高津川での活動状況

■ボランティア・サポート・プログラム



ボランティア・サポート・プログラムとは、地域や企業のみなさんに道路の美化・清掃等に参加していただき、みなさんとともに快適な道づくりを進めるものです。

令和8年4月1日現在、**24団体**が登録されています。



国道9号での活動状況

■夢街道ルネサンス



「夢街道ルネサンス」とは、「みち」と「地域」の一体的な発展を目指すため、歴史・文化・自然などの魅力を再発見し、地域資源を活かした地域づくりを支援するものです。令和7年度は山口県の登録団体と交流会議を開催しています。

令和8年4月1日現在、**5団体**（西部地域）が登録されています。

山口県・島根県（西部）街道交流会議



意見交換会の様子



街道視察：ますだ歴史浪漫街道

浜田河川国道事務所 所在地

事務所、出張所所在地

浜田国道維持出張所

〒697-1322
 島根県浜田市日脚町寺地282-2
 TEL(0855)27-1133
 FAX(0855)27-4633

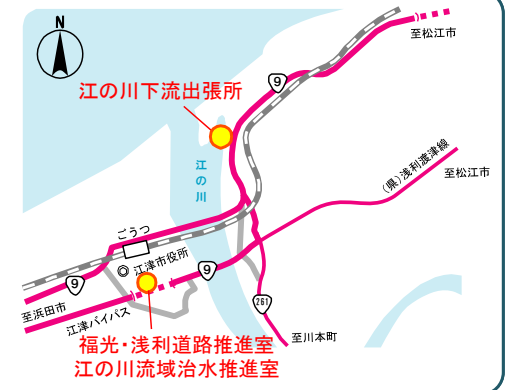


三隅・益田道路浜田推進室

〒697-1322
 島根県浜田市日脚町寺地282-2
 TEL(0855)24-7040
 FAX(0855)24-7290

江の川下流出張所

〒695-0001
 島根県江津市渡津町2011-2
 TEL(0855)52-2926
 FAX(0855)52-2961



福光・浅利道路推進室 江の川流域治水推進室

〒695-0011
 島根県島根県江津市江津町672-4
 TEL 福光 (0855)52-4987 江の川 (0855)54-0377
 FAX 浅利 (0855)52-4988 流域治水 (0855)54-0378

高津川出張所

〒698-0041
 島根県益田市高津1丁目6-1
 TEL(0856)22-0533
 FAX(0856)23-5844

益田国道維持出張所

〒698-0025
 島根県益田市あけぼの西町19-1
 TEL(0856)22-1415
 FAX(0856)24-2698

三隅・益田道路益田推進室

〒698-0025
 島根県益田市あけぼの西町19-1
 TEL(0856)31-4131



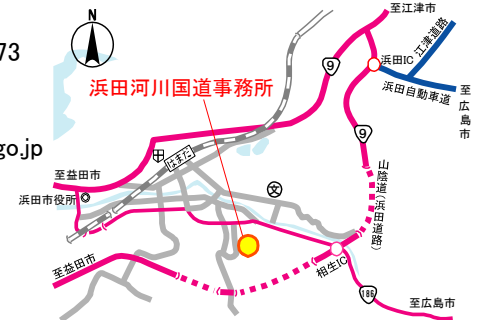
川本出張所

〒696-0003
 島根県邑智郡川本町
 大字因原24
 TEL(0855)72-0431
 FAX(0855)72-2094



国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所

〒697-0034
 島根県浜田市相生町3973
 TEL(0855)22-2480
 FAX(0855)23-5023
 E-mail:e-kippu@cgr.mlit.go.jp





国土を**整え**、全力で**備える**
国土交通省中国地方整備局
浜田河川国道事務所

〒697-0034 島根県浜田市相生町3973
TEL 0855-22-2480 / FAX 0855-23-5023
E-mail : e-kippu@cgr.mlit.go.jp
URL : <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

「道の駅」ゆうひパーク浜田から眺めた日本海の夕日